



どうだんつつじ

満天星

第6号

令和2年9月25日

実り多き秋に ～学校でも家庭でも「凡事徹底（ぼんじてってい）」を～

校長 氏橋 俊司

酷暑、そして感染症対策に悩まされた8月が過ぎ、日に日に秋らしさが深まってきました。子どもたちの成長が楽しみな秋到来です。学校においては、「安全・安心な学校」「児童の安全第一」等の言葉を強く意識しながら、今後も充実した教育活動を工夫して参りますので、地域や保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

スポーツの秋とよく言われますが、休憩時間の子どもたちは、チャイムと共に校庭にかけだし、思いっきり体全体を使って遊んでいます。また、体育科の陸上運動の時間には、友だちと競い合い、支え合いながら短距離走に励んでいます。子どもたちの運動面のがんばりは、本当にすばらしいものがあります。コロナ禍ということもあり、運動会や陸上大会などは内容を精選して実施しますが、一人一人の力がさらに伸びることを期待したいと思います。

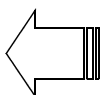
先日行った生活習慣アンケートでは、子どもたちの生活リズムだけでなく、家庭学習やメディア利用の状況もとらえることができました。なかでも、メディア利用のルールが各家庭で作られ、子どもたちが意識して取り組んでいるという割合が以前より多くなっていました。また、夜10時までに就寝する子どもたちも増えています。皆様のご協力に感謝申し上げます。ただ、学校でめやすとしている家庭学習時間が日々達成できなかったり、ネットの利用時間が全体として年々多くなっていたりする点が、心配されるところです。世の動きとして、今後学校では一人一台のタブレット端末を利用した学習が生まれ、子どもたちは家でも学校でもネットを利用することが多くなります。したがって、その活用法と合わせ、自らの心もコントロールできる力をつけていかねばなりません。

一方このような新たなこととは異なり、いつの時代も変わらず大事にしている教育もあります。例えば最近、生活面で力を入れて指導していることに、「黙って掃除をすること」「履き物などの整理・整頓」「挨拶を自分から進んですること」などがあります。年度初めは子どもたちのやる気は高いのですが、日が経つにつれ実践が曖昧になったり、誰かに任せきりになったりします。自信なげに挨拶をしている姿も見られ、2学期の始まりにあたり全職員でこれらの指導を徹底していこうと話しました。子どもたちのがんばりが倍増しますので、地域の皆さまからの声かけをいただくと幸いです。

ビジネス分野で使われることの多い「凡事徹底（ぼんじてってい）」という言葉。当たり前のことを当たり前にやるのではなく、当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命にやり続けるという意味です。このことは教育現場でも共通している点が多く、まさに日常の大半は難しく高度な内容をこなすことではなく、基本的な内容の確実な積み重ねであるといえます。そして、このことが結果として多くの実りをもたらします。学校の取り組みと一体となり、各ご家庭におかれましても、日常の家庭学習や早起き・早寝・朝ごはんの習慣づくり、そして正しいメディア利用の徹底をどうぞよろしくお願いいたします。秋本番となります。皆様とともに、児童の健やかな成長を願い、凡事徹底に努めながら実り多き秋にしたいと思います。



智頭小学校ホームページアドレス <https://www.torikyo.ed.jp/tizu-e/>



こちらのQRコードからもアクセスできます。

子どもたちの日々の活動の様子をご覧ください!!